

## 待機児童の状況と今後の取組等について

### 1 待機児童の状況について

本市では、「藤沢市子ども・子育て支援事業計画」及び「藤沢市保育所整備計画（ガイドライン）」に基づき、増加する保育需要に対応するため、様々な取組を進めてきました。

令和2年度には、認可保育所や小規模保育事業所の新設、また、既存保育施設の改修などにより、前年度と比較して774人の定員拡大を図るとともに、待機児童の多い1・2歳児の受け皿確保策としての年度限定保育事業を実施するなど、待機児童の解消に取り組んだところです。

こうした取組の結果、令和3年4月の保育所等利用申込においては、前年度と比較して利用申込児童数は301人増加しましたが、入所保留児童数は124人減少し、令和3年4月1日現在で国基準による待機児童数は0人となり、待機児童を解消しました。

単位：人

項目	令和3年4月 A	令和2年4月 B	増減 A-B
就学前児童数	21,570	21,842	△ 272
保育所等利用申込児童数①	8,467	8,166	301
利用児童数②	8,010	7,585	425
入所保留児童数③=①-②	457	581	△ 124
幼稚園預かり保育④	9	3	6
藤沢型認定保育施設⑤	11	35	△ 24
企業主導型保育事業⑥	21	42	△ 21
年度限定保育事業⑦	16	53	△ 37
求職活動を休止⑧	60	55	5
特定の保育所等を希望⑨	238	251	△ 13
育児休業中⑩	102	122	△ 20
待機児童⑪=③-(④~⑩)	0	20	△ 20
定員数	8,748	7,974	774

## 2 認可保育所等の公募結果と今後の取組について

### (1) 認可保育所等の公募結果等について（A……計19人の増）

令和4年4月に向けた保育需要に対応するため、次のとおり認可保育所等の設置運営法人の公募を行いました。

#### ア 認可保育所等の公募概要

(ア) 事前周知 令和2年11月30日～令和3年1月21日

(イ) 募集期間 令和3年 1月22日～令和3年3月12日

(ウ) 開所時期 令和4年 4月 1日

#### (エ) 募集内容と応募状況

地 区	認可保育所		小規模保育事業	
	募集内容	応募状況	募集内容	応募状況
東南地区	—	—	—	—
西南地区	2園程度	なし	1園程度	1事業者1提案
中部地区	—	—	1園程度	2事業者2提案
北部地区	1園程度	なし	1園程度	1事業者1提案

#### イ 公募結果

募集期間終了後、令和3年4月14日に藤沢市保育所等設置運営者選考委員会を開催し、次のとおり設置運営法人を選定しました。

#### 小規模保育事業

地区	応募法人	設置場所	予定定員
中部地区	株式会社セリオ	亀井野1丁目	19人

#### ウ 今後のスケジュール（予定）

令和3年6月 藤沢市議会6月定例会において選考結果等の報告及び施設整備補助金に係る補正予算案の提案

令和4年3月 設置認可

4月 開所

#### エ 今後の公募について

令和3年4月1日現在、一部の既存保育施設においては、定員に空きが生じている状況にあります。

このことから、既存保育施設の有効活用を図るための取組を進めていくとともに、認可保育所等の新設整備については、慎重に見極めることとし、7月及び10月に予定していた再公募については、実施しないこととしました。

その後の公募については、今後の保育ニーズの動向等を踏まえて検討します。

(2) 決定済みの施設整備による定員拡大について (B……計27人の増)

認可保育所の再整備

- ・ 藤が岡保育園の再整備 定員21人増 令和3年 5月開所
- ・ 遠藤保育園の再整備 定員 6人増 令和3年11月開所予定

(3) 幼稚園の認定こども園への移行について (C……計20人の増)

認定こども園は、子ども・子育て支援新制度において、教育及び保育の一体的な提供による利用者の利便性の向上と待機児童の解消を目的に、従来の制度を見直し、国が設置を推進した施設であり、本市においても子ども・子育て支援事業計画に位置付ける中で、幼稚園からの移行を推進しています。

本市の認定こども園は、現状1園のみとなっていますが、この度、市内幼稚園から令和4年度に移行を希望する旨の申し出があり、市では認定手続きや施設改修に係る補助金の活用等、移行に向けた相談・支援を進めています。

今後も引き続き、市内幼稚園と十分な連携を図りながら、認定こども園への移行支援を進めていきます。

認定こども園への移行を予定する幼稚園

ア 幼稚園名：藤沢いずみ幼稚園（藤沢市亀井野3224番地）

イ 移行時期：令和4年4月

ウ 移行後定員：180人（教育利用160人，保育利用20人）

※令和4年4月に向けた定員拡大見込み (A+B+C=66人の増)

(4) 既存保育施設の再整備について

既存保育施設の再整備については、保育環境の向上、安全性の確保及び整備に伴う定員拡大を図るため、必要な支援を行っております。

令和4年度からは、築42年を経過した大庭保育園が、現園舎の近隣に仮設園舎用地を確保できたため、再整備に向けた準備を進めていきます。

### 3 保育士不足の状況について

保育士不足により、令和2年4月入所申込み時点で定員まで受入れができない児童数として87人（不足保育士数27人）であったものが、令和3年4月入所申込み時点で160人（不足保育士数42人）に増加しており、保育士確保が喫緊かつ重要な課題となっています。

このような状況を踏まえ、保育士確保に向けては、今年度の新規事業として、新たな保育の担い手を養成する子育て支援員研修の実施や、保育士就労奨励助成金の支給を行うなどの取組を進めるとともに、市内認可保育施設によるワーキンググループに市も参加し、意見交換を行いながら更なる対策を検討していきます。

以 上

(子ども青少年部 子育て企画課・保育課)